

沖縄キリスト教短期大学報

那覇市首里当蔵町3-6-1
沖縄キリスト教短期大学
電話 32-5161
発行人 平良修
編集人 学報編集委員会
印刷所 協栄印刷株式会社
電話 33-4853

夏休みに入ってから間もなく約廿日間アメリカに旅行をした。出発間際になって突然起こったある緊急な事情のために、二、三公務を果さねばならなかったが、もともととは全くの私用の旅行のつもりであつた。目下とりかかっている研究のためにどうしても通しな資料が日本にはないので、かつて学んだニューヨークの神学校の図書館を利用するのが最大の目的であつたのである。

今度の旅行ではいろいろ新しい体験も、毎日が意外なことの連続であつたともいえるが、全体をつらぬいて一つの思いが私をとりかかっていた。

太平洋をこえる人はだれでも経験することだが、たとえば東京を午後十時に飛び立つとすると、ホテルを経由してロスアンゼルスに着くのが同様の午後八時という奇妙なことになる。日付変更線と時差によることはいまでもないが、やはり不思議な気分がする。非科学的な表現だが、「過去に向って飛ぶ」ことになるわけである。

ニューヨークで「く」からの友人と雑談していた時にこの話をしたら、その友人は皮肉な眼つきで「君の今度の旅行そのものが過去への旅ではないのかね。」といった。「僕は歴史を勉強している人

となごやかさの中で事業計画や資金について遅くまで検討し合つた。事業計画としては(一)住所、氏名の変更及び追加の必要のある会員名簿の印刷作成。(二)定期的な運営委員会をもつ事。(三)従来より規模を大きくしたクリスマスパーティー、総会、そして出来れば十月頃に学校側と共催の運動会等が決まった。(四)それに要する費用は今年に限り、全会員に御寄付をお願いする事。

尚、来年度からの会費は他の同窓会と同様卒業前に事務局を通して卒業生一人五百円の入会費を徴収してもらい、毎年それをもつて活動資金にあてる事等が決つた。何卒以上の事を御理解下さいまして今後共よろしく御協力下さいませう様お願い致します。

「短大も創立から十六年をすぎた新しい展開の時期に入った。草創期の先輩たちはさまざまな困難をのりこえて今日の短大の基礎をきづいて来られたのであるが、そこにはまた開拓のよろこびや幻もあったにちがいない。いま、規模も大きくなり、制度や人的構成もとのえられようとしているが、同時に一つの小さい枠の中に「定文化してゆく危険もはらんでいる。

このようなときには、とかく安定を求めて積極性を欠き、将来への大きなヴィジョンを見失つて、過去へ逃避したりする傾向におちいりやすいのではないだろうか。

昨年一年間、「復帰」をめぐるさまざまな論議がなされたとき、平良学長は「沖縄」「キリスト教」「短大」の三つの要素について深く検討することをしばしば強調された。これは正しい指摘であると思う。この三つの要素はいずれも新しい状況の中で根本的に問い直されねばならないものである。そのことにかかわるわたしたちに大きな勇気と開かれた心を要求するものであるから。

おわりに、最近刊行された拙訳「第四の人間と福音」(ヨゼフ・



前WCC総幹事ブレイク博士と語り合う筆者

スモリック著「の序文の中から一部を引用してむすびに代える。

「学生や若い知識人は、権威主義的に思考の鍵——あるいはもつと悪い場合には「解答」——を与えようとする体系を一切拒否する。今日は探求と模索と待望の時代であり、緊張と闘争のうちに、開かれた知性をもって生きる時代なのである。……キリスト者があつていく状況の挑戦をうけとめることを拒んで、伝統や、礼拝様式、正統的教義、あるいは現代の先端的神学をさえも利用して、自分が親近感をもつ安住のかくれ場とする危険性はいつでもある。

安全で絶対まがいがないようにやっていたという誘惑とは常に戦わねばならない。

(図書館長・英語科教授)

同窓会の現状

八期生 花城安夫

現在のキリスト教短大同窓会は会長、副会長、書記、会計の四役員その他にそれぞれの期を代表する連絡係一ないし二名の二十余名から成る運営委員会で構成されています。

たくなるのも会長としての私の杞憂なのだろうか。しかし魅力のある楽しい会にするのは私達であり、あなた自身でもある。

ここまで来て「同窓会」とは何ぞやと自分自身に問い返さざるを得ない。確かに「いい会員達はそれぞれ結婚し、家庭をもち、仕事もある程度の地位にあり、若い人達を指導する重要な立場にあつて忙しい毎日を送っている。

しかし、偶然とはいえない大切な若い時の二、三年間を並べて共に学び、時には夜を徹して語り合い、そして悩み苦しみを打ち明け合つたあの頃。今となつては一つ一つが楽しい色々々する事のない想い出となつてしまつた。そんな想い出を作つて呉れた母校の為に、又後輩達の為に忙しい時間をさくのも無駄な事ではないと思う。確かに学校も時代と共に、宗教色の濃い家庭的な学院から大学生を育てるキリ短に学生、学校総ての面で変つてしまつた。しかしそれがお互いの断絶になつてはならない。



むしろそうだったからこそ我々卒業生が自分達の経験を生かし、同窓会を通じて学校に参与すべきではないだろうか。

さて、七三年度の運営委員会を五月と六月に二回開きました。第一期生の砂川さんを初め、十五名のメンバーが集り懐かし

カンパ報告

靖国神社法案成立阻止のため
一、四一四円
インド、西アフリカ大飢饉救援のため
二、〇〇二円

事務局より

一九七三年度人事報告

- 一、採用
A、教育職員
比嘉健次郎 英語科専任講師(一九七三年四月一日付)
B、事務職員

- (1)西銘和子、短大事務係(一九七三年四月四日付)
(2)宮島星子、図書係(一九七三年四月一日付)
C、用務員
興那ヨシ子、用務員(一九七三年四月一日付)
二、昇任
A、教育職員
(1)R・フラック、助教授へ(一九七三年四月一日付)
(2)喜友名シズ子、講師へ(一九七三年四月一日付)
B、事務職員
津波古きくえ、会計主任(一九七三年八月一日付)
三、退職
A、教育職員
R・フラック助教授(一九七三年六月三十日付)
B、事務職員
大嶺成子、図書館司書(一九七三年三月三十一日付)
四、採用および招聘予定
A、教育職員
(1)ウィリアム・ロイ、英語科専任(一九七三年九月一日付)
(2)漢那憲治、一般教育専任講師、主任司書、(一九七三年十月一日付)
(3)サンフォード・E・テイボーン、英語科専任(一九七三年十月一日付)
B、事務職員
与儀弘一、会計係(一九七三年八月一日付)
五、長期研修
保育科、喜友名シズ子講師
金沢大学教育学部で研修中

図書館だより

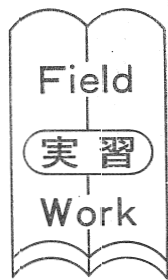
現在図書館在庫は一万五千冊を数えるに至っております。が、量より質のたとえの通りこれからは短大図書館として内容の充実を設備の充実と共に計つてゆきたいと願っております。利用者の多くが意欲的に勉学の対象により良い図書 demands 求めています。

今年度六月より毎月テーマを定めて展示会を開催しています。六年度のテーマは「沖縄、戦争、戦後、反戦」でした。戦争を知らぬ世代にとって目にもふれなかつた事実を知るチャンスとしても意味があつたと思います。これからはテーマを求めて図書館の機能を生かしていけたらと思います。

なお本年三月をもって長年司書として労苦された大嶺成子さんが退職し、代つて宮島星子さんが図書係として西銘純子司書と共に働くことになりました。十月一日からは現在シカゴ大学図書館に勤務して居られる漢那憲治氏を主任司書としてむかえます。館長は四月から外間恵子講師に代つて新見宏教授です。

編集後記

学報はこれまで、当短大の内部充実のため、外部への短大紹介、募金献本の報告等大きな役割を果たして来た。そのために、新見師を委員長とする前委員各位の労は大きかった。今後は異つた意味で、学内の状況や同窓会の動き等を取り挙げる等して、学報の機能が果せる様努力して行きたい。S・K



保育科 久野真智子

保育科実習の中、幼稚園、保育所（二年次）施設実習（一年次）についてその実習状況を報告致しますと次の様な事になります。

今年度は幼稚園及び、保育所実習は学年暦の変更により七月の夏休みに二週間づつ集中的に行なわれました。幼稚園は公立幼稚園の夏休みの変更のため、六月二十九日より公立六園、私立十一園に別れて実習し、保育所は、公立二カ所、私立四カ所、七月十七日より実習を開始しました。

一年次の施設実習は、養護施設のみ一週間づつ四グループに別れて宿泊実習をしました。実習箇所は二カ所です。尚、この施設実習は、学生数からして、二カ所で七月の一月月間に一週間交代で行いましたが全員終了することが出来ず、後半は次年度の春休みに実施します。

この実習で実習生は次の単位を修得することになります。二年次は保育所二単位、幼稚園二単位（四単位中）一年次は施設単位二単位となります。二年次の幼稚園実習はもう二単位不足なので、これは十月秋休みの二週間に行う予定になっています。

実習の内容は次の様な形態で行います。

幼稚園の場合、最初二日間程は

観察見学実習。あと十日間が部分実習（これはお話、歌唱指導、絵画製作等といった大領域を一日のプログラム中、部分的に実習する事）。そして最後二日間が終日責任実習ということになります。終日責任実習は、一日のプログラムを教師に代って作成し、一人でその級を指導するのでこの実習が重点的な実習になります。

保育所の場合も幼稚園と殆んど同じ形で実習します。唯保育所の方は保育時間が八時間ですので体力的にかなり疲れる様です。本年はまた本土（東京、大阪方面）へ十五名程度保育所実習に出かけました。

一年次の施設実習は一週間泊りこみです。これも相当疲れる様です。最後に全体的にみて実習生全員が元気で熱心に実習を終えたとの好評を伝えて終了とします。

英語科 前里 光盛

毎年英語科は二種類の実習を行っている。教職コースの学生を対象にした教育実習とビジネスコースのために行われる会社実習である。

一、教育実習について 本短大創立以来、教育実習に近隣の首里中校にお願いし、有益な指導と助言を受けている。首里中は本短大の外に琉大の実習も担当しており、多少困難が予想されたが、実習を心よく受け入れて下さった。諸先生方のご協力に感謝したい。

実習に先だって今夏は第二回目の学内オリエンテーションが七月

四日から三日間行われた。三人の教師の指導の下に九人の実習希望者が各自一時間づつ実際に授業を担当し、相互に批評し合いながら一様の準備を終了した。

実習担当の仲間恵子先生は、実習に入る前にもう一度全般的な指導を計画書中である。実習生の活躍が期待されている。

二、会社実習について

今年で五回目の会社実習は、四月頃から計画され、約四〇名の学生が二、三週間の訓練を受けている。次に実習にご協力下さった会社と受け入れ数をご紹介し心から感謝の意を表したい。

沖縄電力株式会社（五）

国際旅行社（二）

琉球銀行（二）

バンク・オブ・アメリカ（二）

GEICO（三）

沖縄信販（七）

ケンザー百貨店（二）

リュウボウ旅行サービス（二）

極東放送（英語部）（二）

大同火災海上保険会社（六）

沖縄ソーリスト（二）

沖縄ガス株式会社（四）

実習前にオリエンテーションを行い、講師の瑞慶覧悦子さん（図書月販）や平良尚子さん（出光）

本短大の西銘和子さんらは体験の中から企業内で働く心がけを熱心に教えて下さった。

会社によって実習生を受け入れる姿勢も異なるので、学生の評価も種々あるが、科としても反省会を持ち今後の実習のあり方、実習そのものについて深く検討したい。

活躍する宗教委員会

- ◆ 福岡女学院短大宗教委員会主催の夏期修養会
- ◆ セミナー（七月九日―十一日）に、当短大から
- ◆ 英語科二年次の比嘉明美さんと名嘉美穂子さん
- ◆ が、両短大の交換プログラムとして出席した。

英語科二年次 比 嘉 明 美

「責任ある個人」として生きる

福岡女学院短大主催のセミナーを前後に一週間、福岡の地で学んだ事は、その一つ一つが貴重なものでした。ここでは紙面が限られていますが、セミナーにおいて「私にとって愛する事と生きたる事」と「私に託された大義責任」をテーマに講演された大義先生に学んだ事を話したいと思えます。

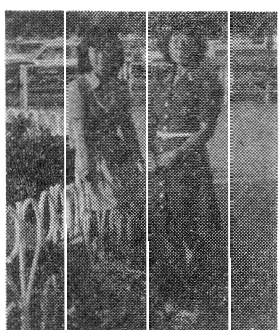
現代の私達は、人間を理解する時、対資本家的な立場において、労働者階級とか、被抑圧階級という捉え方をします。この中では個としての認識が極めて曖昧でその曖昧なものを意識化する事によってこそ、本当の人間理解は始まる。そこに生き生きとした愛が生れる。今日、しだいに人間と人間の結びつきが質から量に変わりつつある事を強調された。マスコミを通して私達は水俣の問題を理解していると思っている。しかし具体的に彼らにかかわりを持つ事なく、本当に水俣を知る事が可能か。

次に先生は、筑豊と併行して力を尽されているカネミ闘争の中で学んだものを話されました。被害

者側と弁護士が主張する基本的人権のニュアンスには決定的な違いがある。被害者側は具体的に命をいかにして守るかという厳粛な訴えであるのに、他方は財産や会社を守るのに必死である。命と物が同じ土俵で戦われないようにしているのに、多くの人間は不思議に疑問を抱く。ここで旧約聖書の一部を引用。「目には目を、歯には歯を」の部分である。これはイエスの愛によって乗り越えられた論理であるがその中には、命は命によってしか償われぬという厳粛な発想がある。命には命の対決を、この当然の主張が認められるところか、むしろごまかしたり押しつぶそうとしてはいないのか。さらに語気を強めて曰く、抗議のマイクを向ける時、「カネミの従業員の方々に」をやめて、個人としてのAさん、Bさんに訴えていくべきではないか。抽象的な呼びかけは、個人の責任を曖昧なものにしていく。

法人は、それ自身は何の機能もしない非人格者であるのに、その後に隠れ責任を回避すればどう

なるのかという事です。必然の法則に於て動く独立資本主義体制の趨勢を思ふ時、戦争と革命が同時に想起され、当然の体制変革の志向の原点となっていました。しかし今、全く別の視点から人間の革命の大切さにも気がつきました。体制に内在する矛盾の拡大は、沖縄において集約的に現象化して深刻な、ともすれば問題だけが先行し、人々はどちらかといえは表面的な平和に安住している。自分自身を反省してみることか単眼的であったかということに気がついた。



× × ×

第七回大学英語教育学会 セミナーに参加して

英語科講師 外間 恵子

セミナーは七月十二日（二）から八月二日（二）まで八王子の大学セミナーハウスで行われました。主任講師は「変形文法の英語教育への応用」で著名なインディアナ大学教授のオーニオン、マス博士、言語心理学者で有名なハワイ大学教授のレオン、シャコビッツ博士の二人、

※※※ OJCキャンプ ※※※

奨学生紹介

今年のキャンプは学生相互の交わりを築くことが中心となる。従来の討論方式とは異なり、特別なテーマも設けずに語り合う。話の自由な相互関係の確立こそ大切だ。全体のプログラムは、具体的計画はこれからだが、科や年次別を考慮した混成グループを作り、そのグループに独自のプログラムを考案させてはどうかという意見もある。

沖繩キリスト教短期大学奨学金
久高友子 譜久村八寿子 宮城京子 七重良かよ子 星島七津子 国吉静子 金城ナヲ子 間美和
日本キリスト教団保母奨学金
宮城苗子
沖繩県育英会奨学金
金城政美 西田三子
日本育英会奨学金
宮城つぎ子
宮城和子 名嘉美穂子 宮城さみ 友利恵美子 長浜美枝子 当間里子 津嘉山千恵子 宮里伊志 濱智子 名城陽子 謝花まさ子 桑江須恵子 大城由美子 松本弘美 阿部京子 以上

後 期 学 年 暦			
10月1日（日）2年次登録	23日（日）～1974年		
2日（日）1年次登録	1月4日（金）冬季休業		
1日（日）～14日（日）	5日（土）講義再開		
秋期休業			
1日（日）～15日（月）	2月1日（金）～3月7日（火）		
英語科教育実習	入学願書受付		
2日（日）～13日（土）	16日（土）講義終了		
保育科2年次幼稚園実習	18日（日）～23日（日）		
15日（日）講義開始	学期末試験		
22日（日）	24日（日）～3月31日（日）		
単位登録調整締切日	春季休業		
23日（日）～27日（土）	3月4日（日）卒業生名発表		
第6回OJCキャンプ	8日（金）卒業式予行演習		
11月22日（木）～26日（月）	9日（土）第16回卒業式		
第9回学院祭	13日（火）～14日（水）		
12月19日（水）クリスマス祝会	1974年度入学試験		
22日（土）講義終了	20日（火）合格発表		